

やさ日の「今」を知る！

# やさ日フォーラム

～「やさしい日本語」が化学反応を起こしています。ぜひ、その目で確かめてください！～

**日時** 令和3年2月9日(火) 14:00～16:15

**場所** Zoomのウェビナーによるオンライン開催

**対象** 区市町村、国際交流協会、社会福祉協議会等の職員

**申込フォーム** [https://www16.nittsu.co.jp/yasanichi\\_tokyo/Entry/RegTop.aspx](https://www16.nittsu.co.jp/yasanichi_tokyo/Entry/RegTop.aspx)

ぜひご参加ください！



## プログラム

### (1)「やさしい日本語」の概要・意義等、「やさしい日本語」の調査結果・分析

- 「やさしい日本語」の普及背景や意義、ポイント等 【14:00～14:35】
- 都が実施した「やさしい日本語」に関する調査結果についての報告  
(活用・取組状況、取り組んだ経緯、課題など)  
都民生活部地域活動推進課活動支援国際担当 課長代理 村田 陽次

### (2) 事例紹介

- ① デザインと組み合わせた「やさしい日本語」の活用事例 【14:35～14:55】  
株式会社ダンク サービス開発部 エキスパート 森 順一郎 氏
- ② 教育文化分野(博物館)での活用事例 【14:55～15:15】  
「やさしい日本語」のプログラムとスタッフ研修 多摩六都科学館 研究・交流グループリーダー 高尾 戸美 氏
- ③ 地域における交流への活用事例 【15:15～15:35】  
「みなとにほんご友だちの会」(港区委託事業) 港区国際交流協会 主任 平野 智子 氏
- ④ その他の事例紹介 【15:35～15:50】  
都民生活部地域活動推進課活動支援国際担当 課長代理 村田 陽次

### (3) まとめ

- 「やさしい日本語」に関する都の最近の取組紹介
  - TOCOS(トコス)、東京都つながり創生財団の紹介等
  - 「やさしい日本語」の課題と今後の取組の方向性について
- 【15:50～16:10】  
都民生活部地域活動推進課活動支援国際担当  
課長代理 村田 陽次

### 問合せ先

東京都生活文化局 担当:石川、足立、泉谷  
TEL: 03-5388-3056  
Mail: [S8000224@section.metro.tokyo.jp](mailto:S8000224@section.metro.tokyo.jp)



イメージキャラクター  
やさかニくん

※講演者のプロフィールは裏面をご覧ください！

主催 東京都生活文化局  
共催 東京都つながり創生財団、東京都国際交流委員会



## 村田 陽次 (むらた ようじ)

山口県宇部市生まれ。1999年東京都庁採用。2004年から生活文化局文化振興部で都立文化施設の管理運営、首都圏のホール・劇場のネットワーク推進などを担当。2018年からは都民生活部において、多文化共生社会づくりや共助社会づくりの推進、「やさしい日本語」の普及促進に取り組んできた。今年度は、新型コロナウイルス流行下における外国人支援施策「東京都外国人新型コロナ生活相談センター（TOCOS）」や、地域コミュニティ活性化を使命とする「東京都つながり創生財団」の設立などを担当している。好きなものはラグビーとホッピー。



## 森 順一郎 (もり じゅんいちろう)

東京都江戸川区生まれ。1997年株式会社ダンク入社。約3年間、流通チラシの校正校閲を担当。その後、スケジュール等を管理する進行管理業務を担当。2002年グループ会社である株式会社東京ヒップの立ち上げに参加。2016年古巣である株式会社ダンクへ出向。2018年やさしい日本語の存在を知り、約25年間、株式会社ダンクが培ってきた編集ノウハウとの親和性を感じ、活動を始める。テキストのみならずイラスト、ピクト、図解を活用した表現を推進する。主にやさしい日本語の普及と販売促進を担当。



## 高尾 戸美 (たかお ひろみ)

札幌出身。大学時に札幌市豊平川さけ科学館のボランティアとして河川調査や飼育業務に携わる中で社会教育の場としての博物館に興味を持ち、国立科学博物館の勤務後は国内外における博物館調査や全国の博物館構想策定・展示設計施工プロジェクトに従事しつつ、2011年からはワークショップデザイナーとして全国で活動を展開。2014年合同会社マーブルワークショップ設立。2017年多摩六都科学館研究・交流グループリーダーとして現場復帰。同館の多文化共生推進プロジェクトを立ち上げ奮闘中。東村山市多文化共生推進プラン推進等協議会市民委員、帝京科学大学非常勤講師。



## 平野 智子 (ひらの ともこ)

東京都杉並区生まれ。2012年に（一財）港区国際交流協会に入職。各種交流事業、語学講座事業、通訳活動事業等の運営を担当した後、2018年から、港区「日本語学習を通じた外国人と日本人の交流促進事業」（協会受託、通称「みなとにほんご友だちの会」）の運営を担当し、地域における「やさしい日本語」の普及と交流活動の推進に取り組む。（一財）自治体国際化協会認定多文化共生マネージャー。好きなものはコーヒー、音楽、民藝の器。趣味は山歩き。

